

大学院教育学研究科

所 属 ・ 職 位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授	
氏 名	宮崎 好治 (Miyazaki Yoshiharu)	
取 得 学 位	教育学士，大分大学，1991 年 3 月	
S D G s 目 標	 4 質の高い教育をみんなに	

研 究 分 野	生徒指導
研究キーワード	学級経営，人間関係づくり，不登校支援
研 究 内 容	●学校以外の教育機会の確保に関する調査研究 2016年12月に不登校児童生徒の支援のための法律である「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が公布されたことを受け，2016年度から大分県教育センター教育相談部を中核として，教育の機会の確保等に関する調査研究を実施した。 具体的にはセンター内にICTを活用した家庭学習支援室を設置し，家庭にいる不登校児童生徒の学習支援を行った。また，教育相談部に心理や福祉の専門家である教育相談アドバイザーを配置し，不登校児童生徒やその保護者のアウトリーチを含めた相談体制を構築した。さらには，大分県内における不登校を支援する公的機関や民間団体などの情報を一元化した「不登校児童生徒支援ガイド」を作成し，学校以外の教育機会の場に関する周知を図った。 ●いじめ防止等対策のためのスクールロイヤー活用に関する調査研究 2017年度から文部科学省でスタートした本調査研究に，翌年の2018年度から大分県が採択され，スクールロイヤー活用に関する調査研究を開始した。具体的には，法的側面からのいじめ予防教育として，スクールロイヤーが児童生徒に対して法教育の観点に基づき，いじめ予防の授業や教職員に対する研修を実施した。また，学校における法的相談への対応として，学校が法的な困りを抱えた場合に，法的観点から学校に対して，指導・助言を行う弁護士を配置した。その後，スクールロイヤー事業は大分県単独事業となり継続発展している。 ●「短時間で継続的に行う人間関係づくりプログラム」の調査研究 学級の中でのいじめや不登校を未然に防止し，児童生徒同士あるいは教師と児童生徒の良好な人間関係を構築するために，2017年3月に大分県教育センターが発刊した大分県版人間関係づくりプログラムに基づき，2022年4月より大分県内の全ての公立小・中・高校において短時間で継続的に行う人間関係づくりプログラムを実施するように通知した。併せて「短時間で継続的に行う人間関係づくりプログラム実践ガイド」を作成し，全校に配付した。
研 究 業 績 ・ アピールポイント	●「不登校児童生徒支援ガイド」（2018年3月から毎年度更新，大分県教委） ●「大分県フリースクールガイドライン」（2018年3月，大分県教委） ●「学級経営力向上ガイドブック」（2018年3月，大分県教委） ●「スクールロイヤーによる学校の法的相談事例集」（2019年3月，大分県教委） ●「大分県スクールカウンセラーガイドライン」（2020年11月，大分県教委） ●「短時間で継続的に行う人間関係づくりプログラム実践ガイド」（2021年3月，大分県教委） ●2022年度からA市における不登校対策アドバイザーとして，不登校児童生徒の支援事業の構築に向けた指導・助言を行った。また，同年よりB市いじめ対策連絡協議会の協議委員として，いじめ対策事業の指導・助言を実施した。また，2022年12月に策定された「生徒指導提要（改訂版）」について各市町村教委や学校において研修講師を行っている。